

令和元年度経済波及効果アンケート調査業務 報告書 概要版



令和2年9月

中部広域市町村圏事務組合

目次

(1) クルーズ旅客における調査	・・・・・・・・・・	p 3
(1-1) 台湾・基隆発のクルーズ（カジュアル 単一国籍）_スーパースター・アクエリアス	・・・・・・・・・・	p 4
(1-2) 香港発のクルーズ（カジュアル 多国籍）_スペクトラム・オブ・ザ・シーズ	・・・・・・・・・・	p 7
(1-3) 日本発のクルーズ（プレミアム 単一国籍）_ぱしふいっくびいなす	・・・・・・・・・・	p 10
(1-4) クルーの場合	・・・・・・・・・・	p 13
(2) 経済効果の分析	・・・・・・・・・・	p 15
(2-1) 関係市町村内での直接消費額	・・・・・・・・・・	p 16
-台湾・基隆発のクルーズの場合		
-香港発のクルーズの場合		
-日本発のクルーズの場合		
-クルーの場合		
-小括		
(2-2) 経済波及効果額（直接効果、間接効果（経済波及額）、業種別経済波及効果額）	・・・・・・・・・・	p 28
-産業連関分析の考え方や用語の説明		
-台湾・基隆発のクルーズの場合		
-香港発のクルーズの場合		
-日本発のクルーズの場合		
-クルーの場合		
(3) 今後の施策や方向性について	・・・・・・・・・・	p 37

※本報告書に記載した船ごとの経済効果の金額は、令和元年度に寄港した3隻のクルーズ船を対象としたアンケート結果であり、寄港パターン（旅程の順番）や発着港、乗客の国籍、サービスクラス、船社、季節等によって、経済効果の金額は大きく変動することに留意されたい。

(1) クルーズ船客における調査

(1)クルーズ船客における調査

(1-1)台湾・基隆発のクルーズ（カジュアル 単一国籍）_スーパースター・アクエリアス

1) 調査概要 2019/11/13 寄港

項目	概要
航路	基隆（台湾）－ 中城 －宮古島－基隆（台湾）
出入港日時	2019/11/13 16:00 - 23:30
乗客数	旅客：403人 クルー：801人
調査票	旅客用：繁体字 クルー用：英語
回収数	旅客：155枚 クルー：43枚
調査方法	寄港するクルーズ旅客と船員に対して、対面式あるいは着座式にインタビューを実施
調査内容	国籍、年代、性別、訪問回数、同行者、旅行目的、訪問先、活動内容、利用した県内交通機関、旅行形態、関係市町村並びに県内消費金額、関係市町村の訪問地の満足度等

(1)クルーズ船客における調査

(1-1)台湾・基隆発のクルーズ（カジュアル 単一国籍）_スーパースター・アクエリアス

3) 基礎集計結果・消費額まとめ

回答者数/旅客数	155/403
調査項目	結果
性別	男性：36%, 女性：61%, 無回答：3%
年齢	どの年齢も一定数存在
同伴者数	2人：54人, 3~4人：44人
同伴者属性	夫婦・家族：47%, 友人：42%
観光目的	観光目的が大半
訪問回数	1回目：41%, 2回目：13%, 3回目以上：29%
国籍・住まい	台湾が殆ど。中国が1割程度。
旅行形態	自由行動74%, ツアー旅行23%
寄港地での活動	ショッピング>食事=観光>レジャー
利用した交通機関 ※複数回答有	タクシー41%, シャトルバス35%, 観光バス20%
訪問地別訪問者数	アメリカンビレッジ：250人 イオンモール沖縄ライカム：241人 イオン具志川：113人
情報入手方法	友人知人家族のススメ：69人 船内新聞やパンフレット：47人 Webサイト：22人

※ツアー旅行=観光バスであるが、観光バスの割合は利用した交通機関の複数回答を考慮した割合であるため、両者の割合が異なっている。

(1)クルーズ船客における調査

(1-1)台湾・基隆発のクルーズ（カジュアル 単一国籍）_スーパースター・アクエリアス

3) 基礎集計結果・消費額まとめ

調査項目	結果
訪問地別平均消費額	イオンモール沖縄ライカム：24,175円 マンガ倉庫：20,000円 ドン・キホーテ：16,240円 アメリカンビレッジ：14,911円 道の駅かでな：13,333円
訪問地別直接消費額	訪問地直接消費額合計：765万円 イオンモール沖縄ライカム：354万円 アメリカンビレッジ：226万円 イオン具志川：68万円
交通機関別直接消費額	交通機関別消費額合計：97万円 タクシー：57万円 レンタカー：29万円
消費項目別直接消費額	飲食料(27%)や菓子類(27%)、化粧品・医療品(24%)の占める割合が大きい 総直接消費額：862万円 (各訪問地計: 765万円+交通機関計: 97万円)

(1)クルーズ船客における調査

(1-2) 香港発のクルーズ（カジュアル 多国籍）_スペクトラム・オブ・ザ・シーズ

1) 調査概要 2020/01/04 寄港

項目	概要
航路	香港（中国）－ 中城 －サロマグ（フィリピン）－サビック湾（フィリピン）－香港（中国）
出入港日時	2020/01/04 12:00 - 21:00
乗客数	旅客：4,411人 クルー：1,692人
調査票	旅客用：繁体字,英語 クルー用：英語
回収数	旅客：367枚 クルー：3枚
調査方法	寄港するクルーズ旅客と船員に対して、対面式あるいは着座式にインタビューを実施
調査内容	国籍、年代、性別、訪問回数、同行者、旅行目的、訪問先、活動内容、利用した県内交通機関、旅行形態、関係市町村並びに県内消費金額、関係市町村の訪問地の満足度等

(1)クルーズ船客における調査

(1-2) 香港発のクルーズ (カジュアル 多国籍) _スペクトラム・オブ・ザ・シーズ

3) 基礎集計結果・消費額まとめ

回答者数/旅客数 367/4,411

調査項目	結果
性別	男:42% 女:54% 無回答:4%
年齢	50~60代が多いが、どの年齢も一定数存在
同伴者数	2人:170人 4人:45人 3人:26人
同伴者属性	夫婦・家族67%, 友人17%
観光目的	観光目的が80%
訪問回数	1回目67%, 2回目10%, 3回目以上12%
国籍・住まい	香港約40%、また多国籍で、特にオーストラリアが多い
旅行形態	自由行動78%, ツアー旅行11%
寄港地での活動	レジャー>ショッピング>食事>観光
利用した交通機関 ※複数回答有	シャトルバス:64%, 観光バス:15%, タクシー:14%
基礎集計結果	イオンモール沖縄ライカム:1,089人
	アメリカンビレッジ:136人
	中城城跡:120人
	国際通り:97人
訪問地別訪問者数	船内新聞やパンフレット:96人
情報入手方法	友人知人家族のススメ:76人
	Webサイト:69人

※ツアー旅行=観光バスであるが、観光バスの割合は利用した交通機関の複数回答を考慮した割合であるため、両者の割合が異なっている。

(1)クルーズ船客における調査

(1-2) 香港発のクルーズ（カジュアル 多国籍）_スペクトラム・オブ・ザ・シーズ

3) 基礎集計結果・消費額まとめ

調査項目	結果
消費額	訪問地別平均消費額
	イオンモール沖縄ライカム：26,005円 マンガ倉庫：19,000円 ドン・キホーテ：8,421円
	訪問地別直接消費額
	訪問地別直接消費額合計：約9,031万円 イオンモール沖縄ライカム：8,047万円 国際通り：226万円 アメリカンビレッジ：164万円
交通機関別直接消費額	
交通機関別消費額合計：492万円 観光バス：171万円 タクシー：266万円	
消費項目別直接消費額	
衣類(29%)や靴・鞆・革製品(22%)、飲食料(18%)の占める割合が大きい 総直接消費額：9,524万円 (各訪問地計: 9,031万円+交通機関計: 492万円)	

(1)クルーズ船客における調査

(1-3)日本発のクルーズ（プレミアム 単一国籍）_ぱしふいっくびいなす

1) 調査概要 2020/02/21 寄港

項目	概要
航路	横浜—屋久島— 中城 —那覇—奄美大島—横浜
出入港日時	2020/02/21 13:00 - 23:30
乗客数	旅客：188人 クルー：203人
調査票	旅客用：日本語 クルー用：日本語
回収数	乗客：56枚 クルー：2枚
調査方法	寄港するクルーズ旅客と船員に対して、対面式あるいは着座式にインタビューを実施
調査内容	国籍、年代、性別、訪問回数、同行者、旅行目的、訪問先、活動内容、利用した県内交通機関、旅行形態、関係市町村並びに県内消費金額、関係市町村の訪問地の満足度等

※本船の寄港時に、ふ頭上で積極的に物販を行った。

(1)クルーズ船客における調査

(1-3)日本発のクルーズ（プレミアム 単一国籍）_ぱしふいっくびいなす

3) 基礎集計結果・消費額まとめ

回答者数/旅客数	56/188
調査項目	結果
性別	男：45% 女：46% 無回答：9%
年齢	70代以上：55% 60代：27%
同伴者数	2人：40人 1人：12人 4人：3人
同伴者属性	夫婦・家族:64%, 友人:11%
観光目的	観光：80% 無回答：20%
訪問回数	1回目：50% 2回目：13% 3回目以上：14%
国籍・住まい	日本人が殆ど
旅行形態	ツアー旅行：82% 自由行動：18%
寄港地での活動	レジャー>ショッピング>観光>食事
利用した交通機関 ※複数回答有	観光バス：63%, タクシー：9%, シャトルバス：9%
訪問地別訪問者数	果報バンタ（ぬちまーす）：22人 勝連城跡：18人 ビオスの丘：9人 残波岬公園：8人
情報入手方法	船内新聞やパンフレット：38人 Webサイト：3人

※ツアー旅行＝観光バスであるが、観光バスの割合は利用した交通機関の複数回答を考慮した割合であるため、両者の割合が異なっている。 11

(1)クルーズ船客における調査

(1-3)日本発のクルーズ（プレミアム 単一国籍）_ぱしふいっくびいなす

3) 基礎集計結果・消費額まとめ

調査項目	結果
消費額	訪問地別平均消費額
	果報バンタ（ぬちまーす）：2,090円 道の駅かでな：1,200円 プラザハウス：1,000円
	訪問地別直接消費額
	訪問地別直接消費額合計：約32.4万円 果報バンタ（ぬちまーす）：14.5万円 道の駅かでな：2.9万円 ビオスの丘：1.3万円
交通機関別直接消費額	
交通機関別消費額合計：27.3万円 タクシー：23.1万円 観光バス：4.3万円	
消費項目別直接消費額	
菓子類：34%、衣類：17%、飲食料：8% 総直接消費額：59.7万円 (各訪問地計: 32.4万円+交通機関計: 27.3万円)	

(1)クルーズ船客における調査

(1-4)クルーの場合

1) 調査概要

	基隆発	香港発	日本発	合計
調査日時	2019/11/13 16:00-23:30	2020/01/04 12:00-21:00	2020/02/21 13:00-23:30	-
クルーの人数	801人	1,692人	203人	2696人
クルーの下船 人数(推定)	160人	340人	40人	540人
回収数	43枚	3枚	2枚	48枚
調査方法	対面式あるいは着座式にインタビューを実施			
調査内容	年代、性別、訪問先、活動内容、利用した県内交通機関、関係市町村並びに県内消費金額、関係市町村の訪問地の満足度等			

※乗船クルー人数の約20%が下船したものとした。

(1)クルーズ船客における調査

(1-4)クルーの場合

3) 基礎集計結果・消費額まとめ

回答者数/下船クルー数		48/540
調査項目	結果	
基礎集計結果	性別	男：71% 女：25% 無回答：4%
	年齢	20代：46% 30代：29%
	利用した交通機関 ※複数回答有	シャトルバス：67%, 観光バス：19%, タクシー：14%
	訪問地別回答者数	イオン具志川：25人 イオンモール沖縄ライカム：21人
消費額	訪問地別平均消費額	ドン・キホーテ：7,250円 イオンモール沖縄ライカム：5,745円 イオン具志川：4,792円 訪問地別直接消費額合計：約270万円
	訪問地別直接消費額	イオンモール沖縄ライカム：125万円 イオン具志川：124万円 ドン・キホーテ：15万円 交通機関別消費額合計：19万円
	交通機関別直接消費額	タクシー：18万円 観光バス：1万円
	消費項目別直接消費額	飲食料：39%、靴・鞆・革製品：19%、菓子類：15% 総直接消費額：289万円 (各訪問地計: 270万円+交通機関計: 19万円)

※ツアー旅行＝観光バスであるが、観光バスの割合は利用した交通機関の複数回答を考慮した割合であるため、両者の割合が異なっている。¹⁴

(2) 経済効果の分析

(2-1) 関係市町村内での直接消費額

(2) 経済効果の分析

(2-1) 関係市町村内での直接消費額

1) 台湾・基隆発のクルーズの場合

	訪問地
沖縄市	ハードオフ、マンガ倉庫、プラザハウス、沖縄こどもの国、パヤオ食堂、東南植物楽園
うるま市	伊弉志川、はま寿司、勝連城跡、ドン・キホーテ、果報バンタ（ぬちまーす）、ピオスの丘
宜野湾市	普天満宮、トロピカルビーチ、嘉数高台公園/展望台、佐喜眞美術館
北谷町	アメリカンビレッジ、アラハビーチ、サンセットビーチ、天然温泉ちゅらーゆ、ボクネン美術館
嘉手納町	道の駅かでな、兼久海浜公園、カヤックイーズ、屋良城跡公園
西原町	沖縄県空手博物館、西原きらきらビーチ
読谷村	ニライビーチ、残波岬公園、座喜味城跡、サンゴ畑
北中城村	イオンモール沖縄ライカム、中城城跡、中城公園、中村家住宅、フラマンスランチバーガー
中城村	中城城跡、中城公園、ブルスカイ、沖縄成田山福泉寺
その他	パルコシティ、万座毛、スーパーマーケット、国際通り

市町村	訪問者数 (人)	直接消費額 (万円)	項目別直接消費額（万円）						
			飲食料	菓子類	家電	化粧品・医 療品	衣類	靴・鞆・ 革製品	その他
沖縄市	38	11	3	1	0	0	0	1	7
うるま市	154	92	29	17	15	15	11	3	1
宜野湾市	4	0	0	0	0	0	0	0	0
北谷町	254	226	38	46	28	97	15	1	1
嘉手納町	6	5	5	0	0	0	0	0	0
西原町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
読谷村	26	0	0	0	0	0	0	0	0
北中城村	255	355	101	133	35	53	22	5	6
中城村	33	1	0	1	0	0	0	0	0
その他	50	46	21	2	0	1	21	0	0
訪問地不明	26	29	5	4	0	19	0	0	0

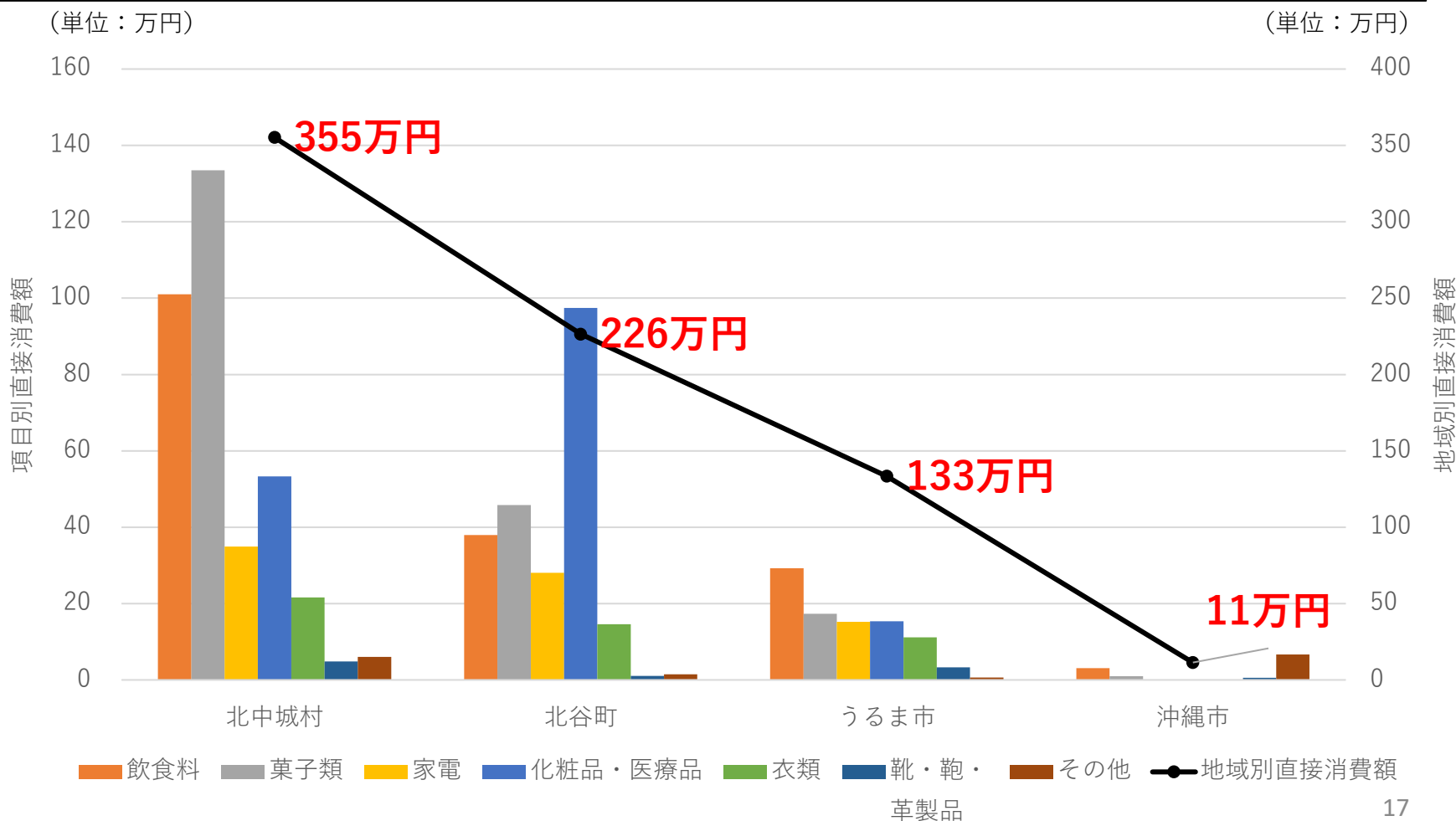
注) 中城城跡、中城公園は北中城村と中城村に跨るため両自治体に票と金額を集計した。

(2) 経済効果の分析

(2-1) 関係市町村内での直接消費額

1) 台湾・基隆発のクルーズの場合

- ・北中城村では355万円の直接消費額があり、飲食料と菓子類の消費が特に高い。
- ・北谷町では、226万円の直接消費額があり、化粧品・医療品の消費が特に高い。
- ・うるま市では、133万円の直接消費額があり、飲食料の消費が特に高い。



※主要な地域のみを表記

(2) 経済効果の分析

(2-1) 関係市町村内での直接消費額

2) 香港発のクルーズの場合

	訪問地
沖縄市	ハードオフ、マンガ倉庫、プラザハウス、沖縄こどもの国、パヤオ食堂、東南植物楽園
うるま市	伊弉具志川、はま寿司、勝連城跡、ドン・キホーテ、果報バンタ（ぬちまーす）、びん木の丘、うるマルシェ、海中道路
宜野湾市	普天満宮、トロピカルビーチ、嘉数高台公園/展望台、佐喜眞美術館
北谷町	アメリカンビレッジ、アラハビーチ、サンセットビーチ、天然温泉ちゅらーゆ、ボクネン美術館
嘉手納町	道の駅かでな、兼久海浜公園、カヤックイーズ、屋良城跡公園
西原町	沖縄県空手博物館、西原きらきらビーチ
読谷村	ニライビーチ、残波岬公園、座喜味城跡、サンゴ畑
北中城村	イオンモール沖縄ライカム、中城城跡、中城公園、中村家住宅、フラマズランチバーガー
中城村	中城城跡、中城公園、ブルースカイ、沖縄成田山福泉寺
那覇市	国際通り、ストリートカート那覇、パルコシティ
その他	万座毛、スーパーマーケット、城、レストラン、瀬底島など

市町村	訪問者数 (人)	直接消費額 (万円)	項目別直接消費額 (万円)							
			飲食料	菓子類	家電	化粧品・ 医療品	衣類	靴・鞆・ 革製品	その他	施設入場費
沖縄市	230	63	30	1	22	0	0	0	0	11
うるま市	509	216	90	37	1	66	0	0	22	0
宜野湾市	159	23	9	13	0	0	0	0	0	1
北谷町	534	186	92	13	47	29	0	0	0	5
嘉手納町	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西原町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
読谷村	136	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北中城村	3,595	8,160	1,245	351	924	716	2,580	1,957	367	20
中城村	384	106	14	14	0	0	0	0	64	14
那覇市	327	232	97	23	0	35	20	3	56	0
その他	136	1	0	0	0	0	0	1	0	0
不明	23	151	48	0	97	0	0	0	6	0

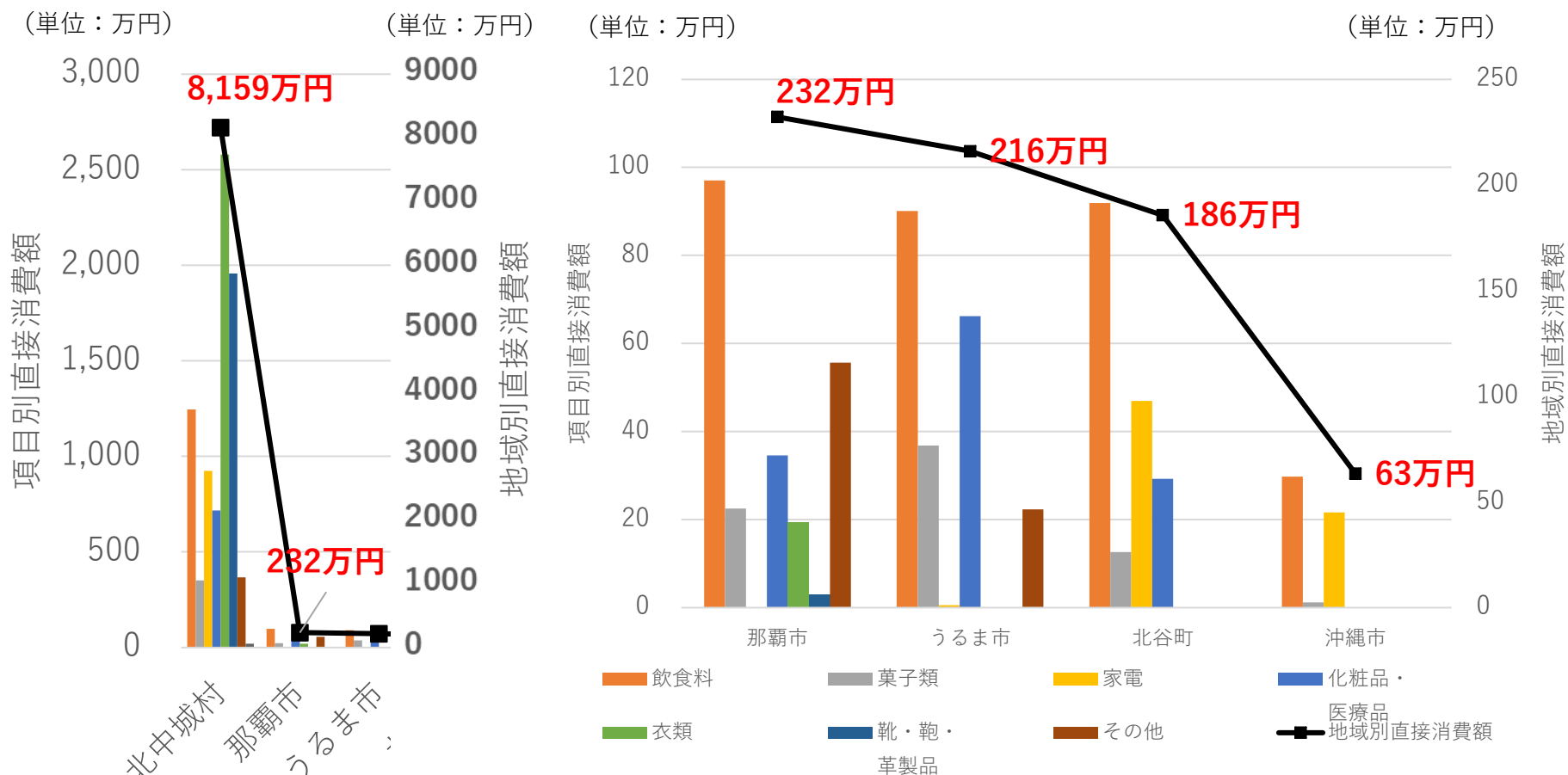
注) 中城城跡、中城公園は北中城村と中城村に跨るため両自治体に票と金額を集計した。

(2) 経済効果の分析

(2-1) 関係市町村内での直接消費額

2) 香港発のクルーズの場合

- ・北中城村では8,159万円の直接消費額があり、衣類と靴・鞆・革製品の消費が特に高い。
- ・那覇市では、232万円の直接消費額があり、飲食費の消費が特に高い。
- ・うるま市では、216万円の直接消費額があり、飲食費と化粧品・医療品の消費が特に高い。



※主要な地域のみを表記

(2) 経済効果の分析

(2-1) 関係市町村内での直接消費額

3) 日本発のクルーズの場合

	訪問地
沖縄市	ハードオフ、マンガ倉庫、プラザハウス、沖縄こどもの国、パヤオ食堂、東南植物楽園
うるま市	イオン具志川、はま寿司、勝連城、ドン・キホーテ、果報バンタ（ぬちまーす）、ピオの丘、海の駅あやはし館、うるマルシェ
宜野湾市	普天満宮、トロピカルビーチ、嘉数高台公園/展望台、佐喜真美術館
北谷町	アメリカンビレッジ、アラハビーチ、サンセットビーチ、天然温泉ちゅらーゆ、ボクネン美術館
嘉手納町	道の駅かでな、兼久海浜公園、カヤックイーズ、屋良城跡公園
西原町	沖縄県空手博物館、西原きらきらビーチ
読谷村	ニライビーチ、残波岬公園、座喜味城跡、サンゴ畑
北中城村	イオンモール沖縄ライカム、中城城跡、中城公園、中村家住宅、プラザマンス'ランチ' -カ-
中城村	中城城跡、中城公園、ブルースカイ、沖縄成田山福泉寺
那覇市	国際通り

市町村	訪問者数 (人)	直接消費額 (万円)	項目別直接消費額 (万円)							
			飲食料	菓子類	家電	化粧品・ 医療品	衣類	靴・鞆・ 革製品	その他	施設入場費
沖縄市	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うるま市	156	26	2	10	0	0	2	4	0	8
宜野湾市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北谷町	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0
嘉手納町	2	3	0	0	1	0	0	1	0	1
西原町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
読谷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北中城村	69	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中城村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
那覇市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	53	4	1	0	0	0	0	0	0	3
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

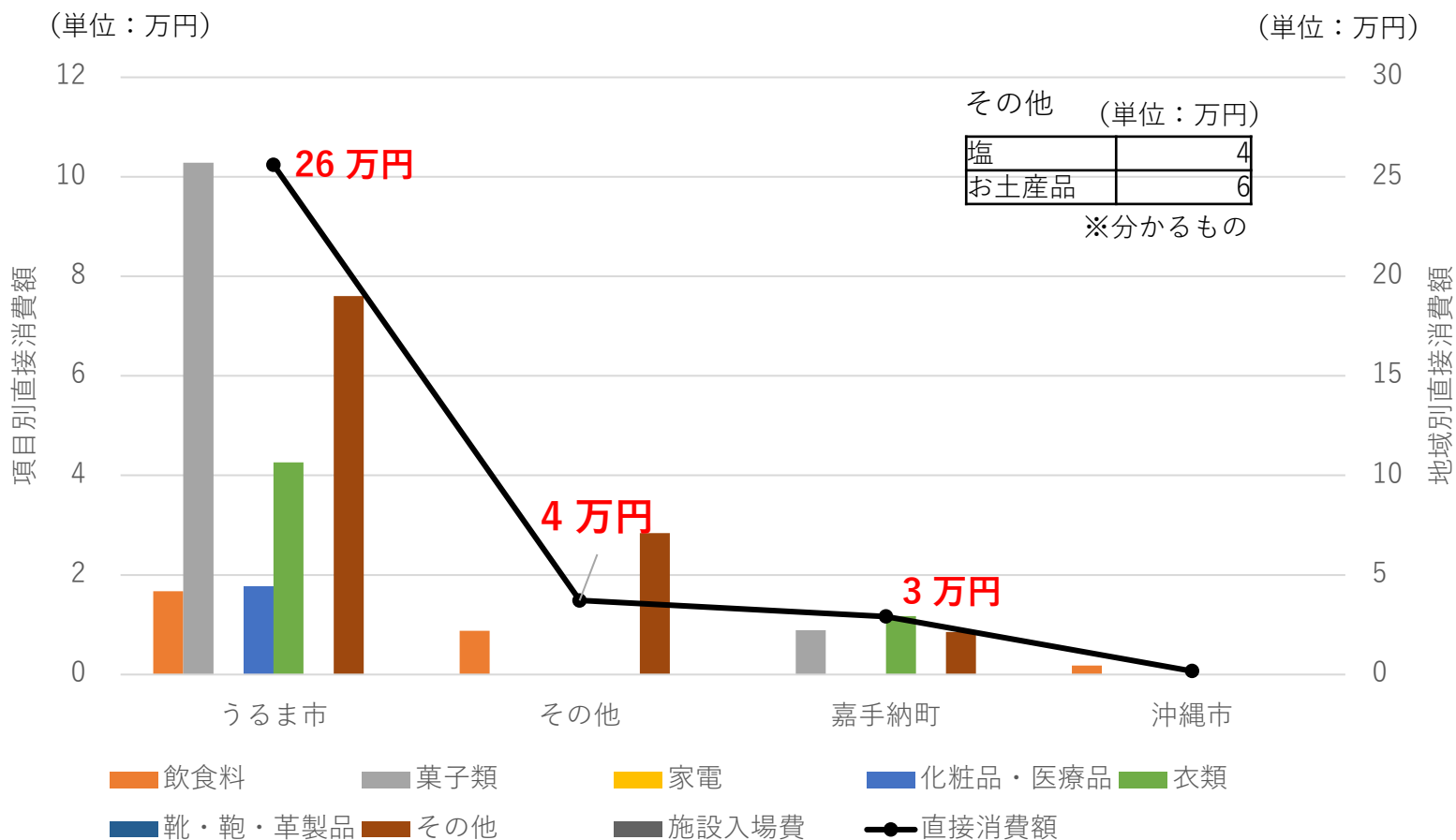
注) 中城城跡、中城公園は北中城村と中城村に跨るため両自治体に票と金額を集計した。

(2) 経済効果の分析

(2-1) 関係市町村内での直接消費額

3) 日本発のクルーズの場合

・うるま市では菓子類の消費額が高く、うるま市での消費額合計は26万円だった。



※主要な地域のみを表記

(2) 経済効果の分析

(2-1) 関係市町村内での直接消費額

4) クルーの場合

	訪問地
沖縄市	ハードオフ、マンガ倉庫、プラザハウス、沖縄こどもの国、パヤオ食堂、東南植物楽園、つるりんこう
うるま市	イオン具志川、はま寿司、勝連城、ドン・キホーテ、果報バンタ（ぬちまーす）、ビオスの丘
宜野湾市	普天満宮、トロピカルビーチ、嘉数高台公園/展望台、佐喜眞美術館
北谷町	アメリカンビレッジ、アラハビーチ、サンセットビーチ、天然温泉ちゅらーゆ、ボクネン美術館
嘉手納町	道の駅かでな、兼久海浜公園、カヤックイーズ、屋良城跡公園
西原町	沖縄県空手博物館、西原きらきらビーチ
読谷村	ニライビーチ、残波岬公園、座喜味城跡、サンゴ畑
北中城村	イオンモール沖縄ライカム、中城城跡、中城公園、中村家住宅、アラマンスランチ・バー
中城村	中城城跡、中城公園、ブルースカイ、沖縄成田山福泉寺

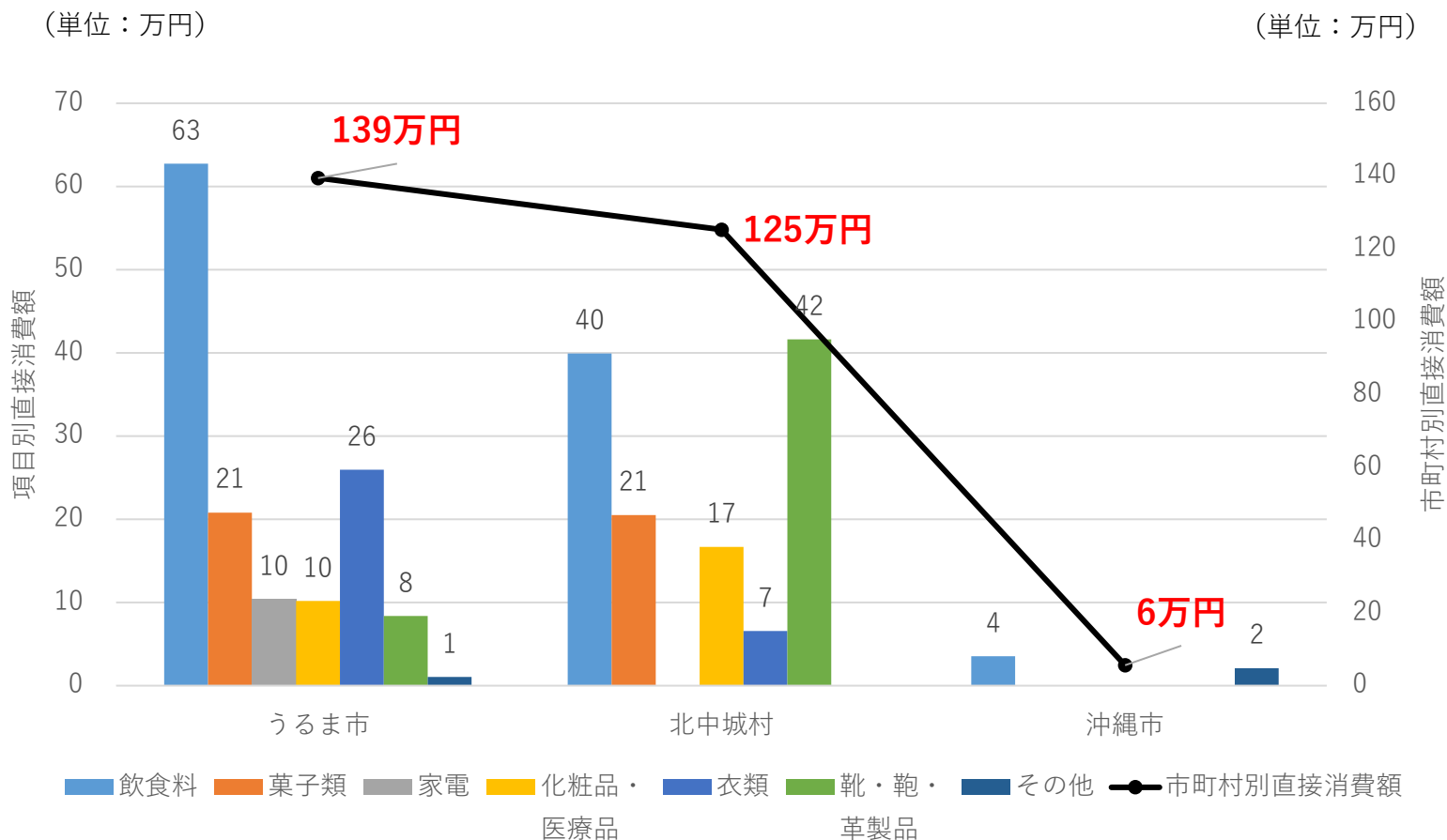
市町村	訪問者数 (人)	直接消費 額(万円)	項目別直接消費額(万円)							
			飲食料	菓子類	家電	化粧品・ 医療品	衣類	靴・鞆・ 革製品	その他	
沖縄市	42	5.6	3.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1
うるま市	280	139.5	62.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
宜野湾市	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北谷町	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
嘉手納町	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
西原町	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
読谷村	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北中城村	218	125.3	39.9	20.5	0.0	16.7	6.6	41.6	0.0	0.0
中城村	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(2) 経済効果の分析

(2-1) 関係市町村内での直接消費額

4) クルーの場合

- ・うるま市では菓子類の消費額が高く、うるま市での消費額合計は139万円だった。
- ・次いで、北中城村が125万円が多い。



※主要な地域のみを表記

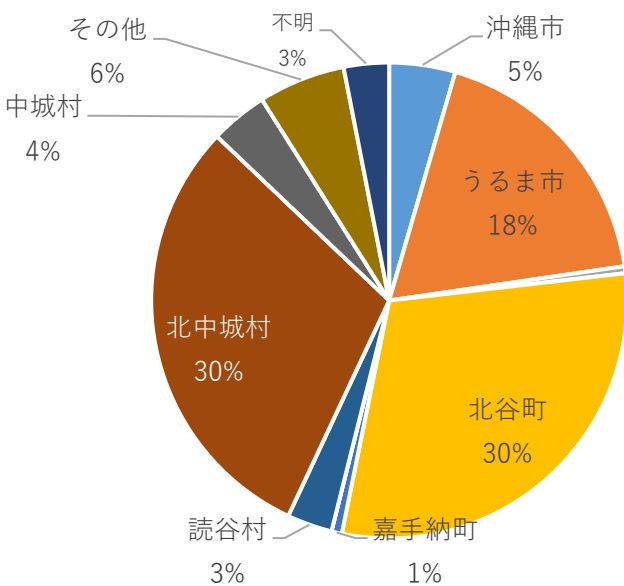
(2) 経済効果の分析

(2-1) 関係市町村内での直接消費額

4) 小括：延べ訪問者数訪問地割合 ※クルーの訪問を含まない

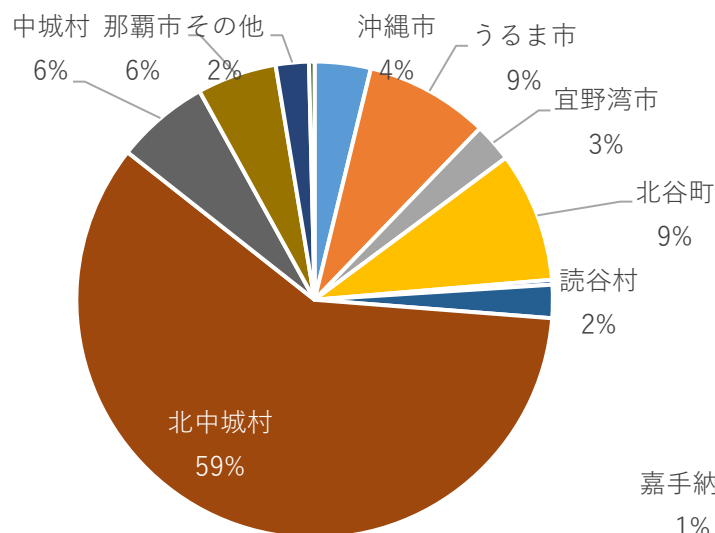
- ・ 基隆発は北谷町や北中城村、うるま市への訪問者が多い。
- ・ 香港発は北中城村への訪問者が特に多く、次いで北谷町が多い。
- ・ 日本発はうるま市への訪問者が過半数で、次いで北中城村への訪問者が多い。

基隆発



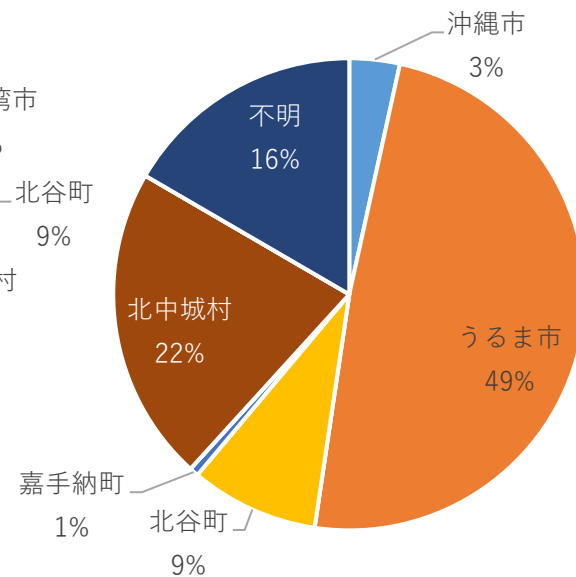
延べ訪問者数 = 846
人

香港発



延べ訪問者数 = 6,053
人

日本発



延べ訪問者数 = 319
24 人

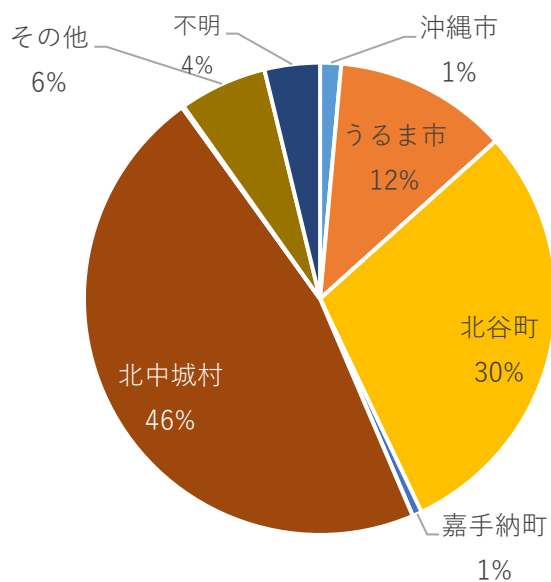
(2) 経済効果の分析

(2-1) 関係市町村内での直接消費額

4) 小括：直接消費額訪問地割合_※クルーの直接消費額を含まない

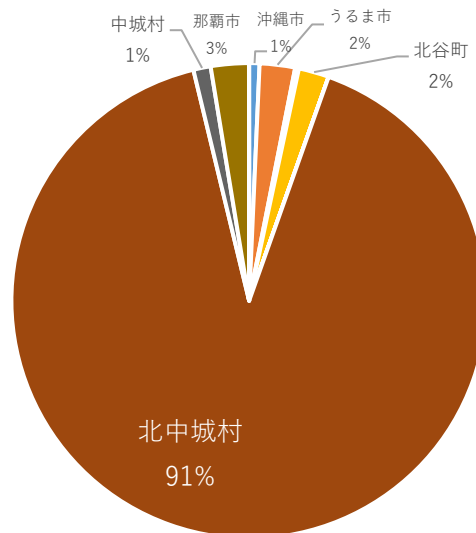
- ・ 基隆発は北中城村への直接消費額が大きく、次いで北谷町やうるま市が大きい。
- ・ 香港発は北中城村への直接消費額が91%と全体消費の大半を占めている。
- ・ 日本発はうるま市への直接消費額が殆どであり、次いで嘉手納町が大きい。

基隆発



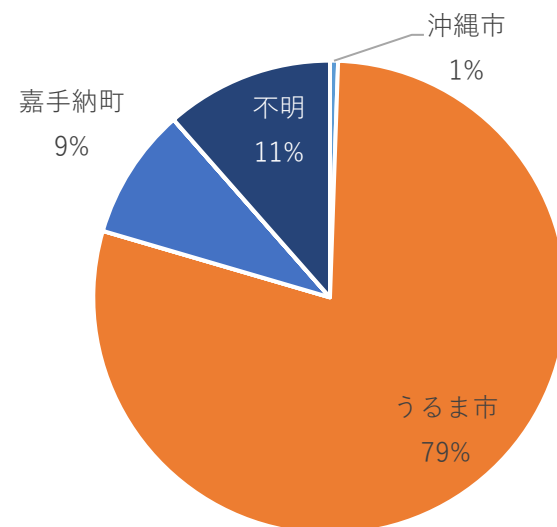
直接消費額 = 766 万円

香港発



直接消費額 = 9,137 万円

日本発



直接消費額 = 32 万円

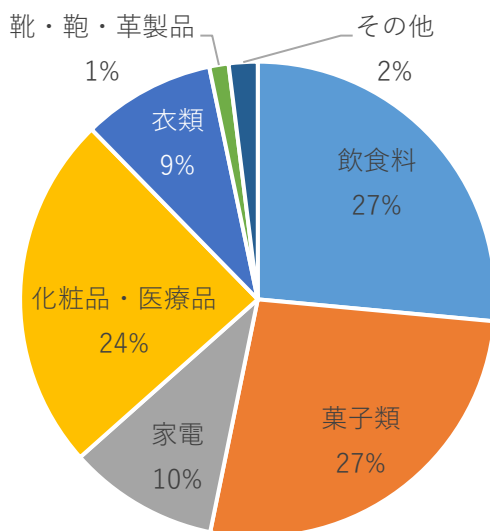
(2) 経済効果の分析

(2-1) 関係市町村内での直接消費額

4) 小括：項目別直接消費額割合 ※クルーの直接消費額を含まない

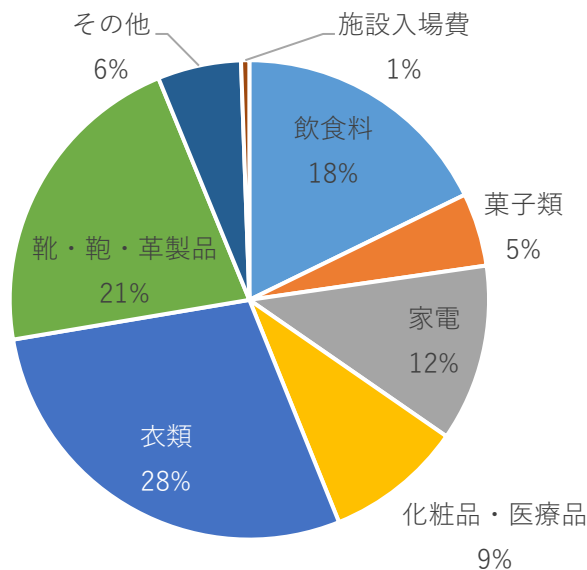
- ・ 基隆発は飲食料や菓子類、化粧品・医療品への直接消費額が大きい。
- ・ 香港発は飲食料や衣類、靴・鞆・革製品への直接消費額が大きい。
- ・ 日本発は菓子類への直接消費額が特に大きい。

基隆発



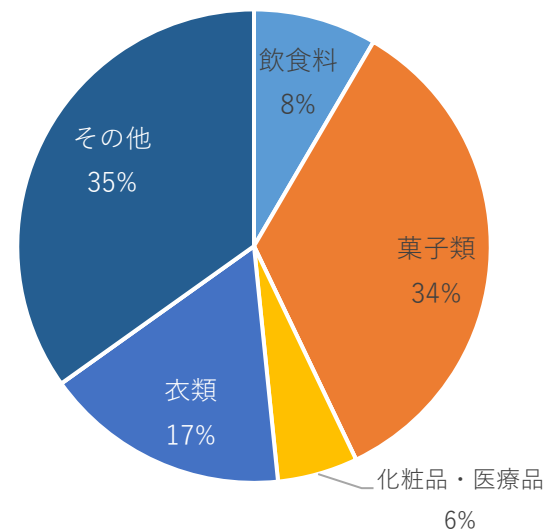
直接消費額 = 766 万円

香港発



直接消費額 = 9,137 万円

日本発



直接消費額 = 32 万円

注) 中城城跡、中城公園は北中城村と中城村に跨るため両自治体に票と金額を集計した。

(2) 経済効果の分析

(2-1) 関係市町村内での直接消費額

4) 小括：項目別直接消費額合計__※クルーの直接消費額を含む

- ・基隆発の乗員乗客の直接消費額合計は849万円であった。
 - ・香港発の乗員乗客の直接消費額合計は9,319万円であった。
 - ・日本発の乗員乗客の直接消費額合計は54万円であった。
- 3隻合わせると直接消費額合計は10,221万円であった。

	(万円)			
訪問地合計	基隆発	香港発	日本発	合計
飲食料	233	1,691	11	1,935
菓子類	216	477	14	707
家電	81	1,096	1	1,178
化粧品・医療品	193	863	4	1,060
衣類	79	2,620	8	2,706
靴・鞆・革製品	25	1,992	4	2,021
その他	16	517	12	544
施設入場費	0	51	0	51
交通費	5	12	1	19
合計	849	9,319	54	10,221

注) 中城城跡、中城公園は北中城村と中城村に跨るため両自治体に票と金額を集計した。

(2) 経済効果の分析

(2-2) 経済波及効果額（直接効果、間接効果（経済波及額）、業種別経済波及効果額）について

(2) 経済効果の分析

(2-2) 経済波及効果額（直接効果、間接効果（経済波及額）、業種別経済波及効果額）について

1) 台湾・基隆発のクルーズの場合

- ・一次、二次も含めて合計1,336万円の生産誘発額があることがわかった。
- ・また、631万円の粗付加価値誘発額と145万円の雇用者所得誘発額があることもわかった。

(単位:万円)

	直接効果	一次波及効果	二次波及効果	合計
生産誘発額	862	370	104	1,336
粗付加価値額	384	185	62	631
雇用者所得誘発額	101	35	9	145

詳細な業種別波及効果等については、次ページに記す。

1) 台湾・基隆発のクルーズの場合

業種別経済効果

直接効果

1次波及効果

2次波及効果

(単位:万円)

項目	需要額	直接効果 の粗付加 価値額	直接効果 雇用者所 得額
農業	0	0	0
林業	0	0	0
漁業	0	0	0
鉱業	0	0	0
食料品・たばこ・飲料	208	74	16
繊維製品	70	36	24
製材・木製品・家具	0	0	0
パルプ・紙・紙加工 品	0	0	0
化学製品	190	81	20
石油製品・石炭製品	0	0	0
窯業・土石製品	0	0	0
鉄鋼	0	0	0
非鉄金属	0	0	0
金属製品	0	0	0
一般機械	0	0	0
電気機械	80	34	6
輸送機械	0	0	0
精密機械	0	0	0
その他の製造工業 製品	12	6	2
建築及び補修	0	0	0
土木建設	0	0	0
電気・ガス・熱供給	0	0	0
水道・廃棄物処理	0	0	0
商業	0	0	0
金融・保険	0	0	0
不動産	0	0	0
運輸	97	52	6
情報通信	0	0	0
公務	0	0	0
教育・研究	0	0	0
医療・保健・社会保 障・介護	0	0	0
その他の公共サービ ス	0	0	0
対事業所サービス	0	0	0
対個人サービス	206	102	28
その他	0	0	0
合計	862	384	101

(単位:万円)

項目	一次生産 誘発額	一次粗付 加価値誘 発額	一次雇用 者所得誘 発額
農業	42	15	6
林業	0	0	0
漁業	1	0	0
鉱業	1	0	0
食料品・たばこ・飲料	36	13	3
繊維製品	2	1	1
製材・木製品・家具	0	0	0
パルプ・紙・紙加工 品	3	1	0
化学製品	2	1	0
石油製品・石炭製品	16	0	0
窯業・土石製品	3	1	0
鉄鋼	5	1	0
非鉄金属	1	0	0
金属製品	4	1	1
一般機械	0	0	0
電気機械	0	0	0
輸送機械	3	1	0
精密機械	0	0	0
その他の製造工業製 品	5	2	1
建築及び補修	3	2	0
土木建設	0	0	0
電気・ガス・熱供給	33	12	0
水道・廃棄物処理	11	6	1
商業	47	27	7
金融・保険	10	8	1
不動産	6	5	0
運輸	27	14	2
情報通信	17	10	1
公務	1	1	0
教育・研究	30	25	3
医療・保健・社会保障・ 介護	0	0	0
その他の公共サービス	3	1	1
対事業所サービス	46	31	7
対個人サービス	5	2	1
その他	6	1	0
合計	370	185	35

(単位:万円)

項目	二次生産 誘発額	二次粗付 加価値誘 発額	二次雇用 者所得誘 発額
農業	2	1	0
林業	0	0	0
漁業	0	0	0
鉱業	0	0	0
食料品・たばこ・飲料	6	2	0
繊維製品	0	0	0
製材・木製品・家具	0	0	0
パルプ・紙・紙加工 品	0	0	0
化学製品	0	0	0
石油製品・石炭製品	3	0	0
窯業・土石製品	0	0	0
鉄鋼	0	0	0
非鉄金属	0	0	0
金属製品	0	0	0
一般機械	0	0	0
電気機械	0	0	0
輸送機械	1	0	0
精密機械	0	0	0
その他の製造工業製 品	0	0	0
建築及び補修	1	0	0
土木建設	0	0	0
電気・ガス・熱供給	4	2	0
水道・廃棄物処理	1	1	0
商業	17	10	3
金融・保険	5	4	0
不動産	22	18	1
運輸	5	3	0
情報通信	7	4	0
公務	1	1	0
教育・研究	2	2	0
医療・保健・社会保障・ 介護	6	4	1
その他の公共サービス	2	1	0
対事業所サービス	5	4	1
対個人サービス	10	5	1
その他	1	0	0
合計	104	62	9

(2) 経済効果の分析

(2-2) 経済波及効果額（直接効果、間接効果（経済波及額）、業種別経済波及効果額）について

2) 香港発のクルーズの場合

- ・一次、二次も含めて合計14,472万円の生産誘発額があることがわかった。
- ・また、7,312万円の粗付加価値誘発額と2,157万円の雇用者所得誘発額があることもわかった。

(単位：万円)

	直接効果	一次波及効果	二次波及効果	合計
生産誘発額	9,524	3,399	1,550	14,472
粗付加価値額	4,600	1,787	925	7,312
雇用者所得誘発額	1,693	326	138	2,157

詳細な業種別波及効果等については、次ページに記す。

2) 香港発のクルーズの場合

業種別経済効果

直接効果

(単位:万円)

項目	需要額	直接効果 の粗付加 価値額	直接効果 雇用者所 得額
農業	0	0	0
林業	0	0	0
漁業	0	0	0
鉱業	0	0	0
食料品・たばこ・飲料	465	165	35
繊維製品	2,730	1,420	945
製材・木製品・家具	0	0	0
パルプ・紙・紙加工 品	1	0	0
化学製品	889	378	93
石油製品・石炭製品	0	0	0
窯業・土石製品	0	0	0
鉄鋼	0	0	0
非鉄金属	0	0	0
金属製品	0	0	0
一般機械	0	0	0
電気機械	1,145	483	86
輸送機械	0	0	0
精密機械	0	0	0
その他の製造工業 製品	2,071	1,036	266
建築及び補修	0	0	0
土木建設	0	0	0
電気・ガス・熱供給	0	0	0
水道・廃棄物処理	0	0	0
商業	0	0	0
金融・保険	0	0	0
不動産	0	0	0
運輸	492	261	29
情報通信	0	0	0
公務	0	0	0
教育・研究	0	0	0
医療・保健・社会保 障・介護	0	0	0
その他の公共サービ ス	0	0	0
対事業所サービス	0	0	0
対個人サービス	1,730	856	238
その他	0	0	0
合計	9,524	4,600	1,693

1次波及効果

(単位:万円)

項目	一次生産 誘発額	一次粗付 加価値誘 発額	一次雇用 者所得誘 発額
農業	130	47	18
林業	1	0	0
漁業	3	2	0
鉱業	6	3	0
食料品・たばこ・飲料	180	64	14
繊維製品	69	36	24
製材・木製品・家具	4	2	0
パルプ・紙・紙加工 品	46	17	2
化学製品	27	11	3
石油製品・石炭製品	128	4	0
窯業・土石製品	21	7	1
鉄鋼	67	10	1
非鉄金属	8	2	1
金属製品	29	10	4
一般機械	0	0	0
電気機械	4	2	0
輸送機械	19	7	0
精密機械	0	0	0
その他の製造工業製 品	89	45	11
建築及び補修	36	16	4
土木建設	0	0	0
電気・ガス・熱供給	308	115	4
水道・廃棄物処理	87	47	6
商業	577	335	91
金融・保険	122	91	10
不動産	61	51	2
運輸	370	197	22
情報通信	161	93	7
公務	13	8	1
教育・研究	310	257	27
医療・保健・社会保 障・介護	1	1	0
その他の公共サービ ス	26	12	5
対事業所サービス	403	267	61
対個人サービス	35	17	5
その他	58	11	3
合計	3,399	1,787	326

2次波及効果

(単位:万円)

項目	二次生産 誘発額	二次粗付 加価値誘 発額	二次雇用 者所得誘 発額
農業	26	9	4
林業	0	0	0
漁業	1	0	0
鉱業	1	1	0
食料品・たばこ・飲料	94	33	7
繊維製品	1	1	0
製材・木製品・家具	1	0	0
パルプ・紙・紙加工 品	2	1	0
化学製品	2	1	0
石油製品・石炭製品	39	1	0
窯業・土石製品	2	1	0
鉄鋼	1	0	0
非鉄金属	0	0	0
金属製品	2	1	0
一般機械	0	0	0
電気機械	0	0	0
輸送機械	8	3	0
精密機械	0	0	0
その他の製造工業製 品	7	3	1
建築及び補修	11	5	1
土木建設	0	0	0
電気・ガス・熱供給	62	23	1
水道・廃棄物処理	22	12	1
商業	258	150	41
金融・保険	81	60	6
不動産	330	274	10
運輸	81	43	5
情報通信	101	58	4
公務	14	9	1
教育・研究	36	30	3
医療・保健・社会保 障・介護	96	61	12
その他の公共サービ ス	27	13	5
対事業所サービス	79	52	12
対個人サービス	155	77	21
その他	10	2	1
合計	1,550	925	138

(2) 経済効果の分析

(2-2) 経済波及効果額（直接効果、間接効果（経済波及額）、業種別経済波及効果額）について

3) 日本発のクルーズの場合

- ・一次、二次も含めて合計92万円の生産誘発額があることがわかった。
- ・また、44万円の粗付加価値誘発額と9万円の雇用者所得誘発額があることもわかった。

(単位：万円)

	直接効果	一次波及効果	二次波及効果	合計
生産誘発額	60	25	7	92
粗付加価値額	28	12	4	44
雇用者所得誘発額	6	2	1	9

詳細な業種別波及効果等については、次ページに記す。

3) 日本発のクルーズの場合

業種別経済効果

直接効果

1次波及効果

2次波及効果

(単位:万円)

(単位:万円)

(単位:万円)

項目	需要額	直接効果 の粗付加 価値額	直接効果 雇用者所 得額
農業	0	0	0
林業	0	0	0
漁業	0	0	0
鉱業	0	0	0
食料品・たばこ・飲料	19	7	1
繊維製品	7	4	3
製材・木製品・家具	0	0	0
パルプ・紙・紙加工 品	0	0	0
化学製品	2	1	0
石油製品・石炭製 品	0	0	0
窯業・土石製品	0	0	0
鉄鋼	0	0	0
非鉄金属	0	0	0
金属製品	0	0	0
一般機械	0	0	0
電気機械	0	0	0
輸送機械	0	0	0
精密機械	0	0	0
その他の製造工業 製品	0	0	0
建築及び補修	0	0	0
土木建設	0	0	0
電気・ガス・熱供給	0	0	0
水道・廃棄物処理	0	0	0
商業	0	0	0
金融・保険	0	0	0
不動産	0	0	0
運輸	27	15	2
情報通信	0	0	0
公務	0	0	0
教育・研究	0	0	0
医療・保健・社会保 障・介護	0	0	0
その他の公共サー ビス	0	0	0
対事業所サービス	0	0	0
対個人サービス	4	2	1
その他	0	0	0
合計	60	28	6

項目	一次生産 誘発額	一次粗付 加価値誘 発額	一次雇用 者所得誘 発額
農業	3	1	0
林業	0	0	0
漁業	0	0	0
鉱業	0	0	0
食料品・たばこ・飲料	2	1	0
繊維製品	0	0	0
製材・木製品・家具	0	0	0
パルプ・紙・紙加工 品	0	0	0
化学製品	0	0	0
石油製品・石炭製 品	2	0	0
窯業・土石製品	0	0	0
鉄鋼	0	0	0
非鉄金属	0	0	0
金属製品	0	0	0
一般機械	0	0	0
電気機械	0	0	0
輸送機械	1	0	0
精密機械	0	0	0
その他の製造工業製 品	0	0	0
建築及び補修	0	0	0
土木建設	0	0	0
電気・ガス・熱供給	1	1	0
水道・廃棄物処理	0	0	0
商業	3	2	0
金融・保険	1	1	0
不動産	0	0	0
運輸	4	2	0
情報通信	1	1	0
公務	0	0	0
教育・研究	1	1	0
医療・保健・社会保 障・介護	0	0	0
その他の公共サービ ス	0	0	0
対事業所サービス	4	2	1
対個人サービス	0	0	0
その他	0	0	0
合計	25	12	2

項目	二次生産 誘発額	二次粗付 加価値誘 発額	二次雇用 者所得誘 発額
農業	0	0	0
林業	0	0	0
漁業	0	0	0
鉱業	0	0	0
食料品・たばこ・飲料	0	0	0
繊維製品	0	0	0
製材・木製品・家具	0	0	0
パルプ・紙・紙加工 品	0	0	0
化学製品	0	0	0
石油製品・石炭製 品	0	0	0
窯業・土石製品	0	0	0
鉄鋼	0	0	0
非鉄金属	0	0	0
金属製品	0	0	0
一般機械	0	0	0
電気機械	0	0	0
輸送機械	0	0	0
精密機械	0	0	0
その他の製造工業製 品	0	0	0
建築及び補修	0	0	0
土木建設	0	0	0
電気・ガス・熱供給	0	0	0
水道・廃棄物処理	0	0	0
商業	1	1	0
金融・保険	0	0	0
不動産	1	1	0
運輸	0	0	0
情報通信	0	0	0
公務	0	0	0
教育・研究	0	0	0
医療・保健・社会保 障・介護	0	0	0
その他の公共サービ ス	0	0	0
対事業所サービス	0	0	0
対個人サービス	1	0	0
その他	0	0	0
合計	7	4	1

(2) 経済効果の分析

(2-2) 経済波及効果額（直接効果、間接効果（経済波及額）、業種別経済波及効果額）について

3) クルーの場合

- ・一次、二次も含めて合計449万円の生産誘発額があることがわかった。
- ・また、220万円の粗付加価値誘発額と55万円の雇用者所得誘発額があることもわかった。

(単位：万円)

	直接効果	一次波及効果	二次波及効果	合計
生産誘発額	289	120	40	449
粗付加価値額	136	61	24	220
雇用者所得誘発額	41	11	4	55

詳細な業種別波及効果等については、次ページに記す。

3) クルーの場合

業種別経済効果

直接効果

1次波及効果

2次波及効果

(単位:万円)

(単位:万円)

(単位:万円)

項目	需要額	直接効果 の粗付加 価値額	直接効果 雇用者所 得額
農業	0	0	0
林業	0	0	0
漁業	0	0	0
鉱業	0	0	0
食料品・たばこ・飲料	42	15	3
繊維製品	33	17	11
製材・木製品・家具	0	0	0
パルプ・紙・紙加工 品	0	0	0
化学製品	27	12	3
石油製品・石炭製 品	0	0	0
窯業・土石製品	0	0	0
鉄鋼	0	0	0
非鉄金属	0	0	0
金属製品	0	0	0
一般機械	0	0	0
電気機械	11	4	1
輸送機械	0	0	0
精密機械	0	0	0
その他の製造工業 製品	51	25	7
建築及び補修	0	0	0
土木建設	0	0	0
電気・ガス・熱供給	0	0	0
水道・廃棄物処理	0	0	0
商業	0	0	0
金融・保険	0	0	0
不動産	0	0	0
運輸	19	10	1
情報通信	0	0	0
公務	0	0	0
教育・研究	0	0	0
医療・保健・社会保 障・介護	0	0	0
その他の公共サー ビス	0	0	0
対事業所サービス	0	0	0
対個人サービス	107	53	15
その他	0	0	0
合計	289	136	41

項目	一次生産 誘発額	一次粗付 加価値誘 発額	一次雇用 者所得誘 発額
農業	10	4	1
林業	0	0	0
漁業	0	0	0
鉱業	0	0	0
食料品・たばこ・飲料	12	4	1
繊維製品	1	0	0
製材・木製品・家具	0	0	0
パルプ・紙・紙加工 品	1	0	0
化学製品	1	0	0
石油製品・石炭製 品	5	0	0
窯業・土石製品	1	0	0
鉄鋼	1	0	0
非鉄金属	0	0	0
金属製品	1	0	0
一般機械	0	0	0
電気機械	0	0	0
輸送機械	1	0	0
精密機械	0	0	0
その他の製造工業 製品	2	1	0
建築及び補修	1	1	0
土木建設	0	0	0
電気・ガス・熱供給	11	4	0
水道・廃棄物処理	4	2	0
商業	18	10	3
金融・保険	4	3	0
不動産	3	2	0
運輸	12	6	1
情報通信	6	4	0
公務	0	0	0
教育・研究	6	5	1
医療・保健・社会保 障・介護	0	0	0
その他の公共サー ビス	1	1	0
対事業所サービス	14	9	2
対個人サービス	2	1	0
その他	2	0	0
合計	120	61	11

項目	二次生産 誘発額	二次粗付 加価値誘 発額	二次雇用 者所得誘 発額
農業	1	0	0
林業	0	0	0
漁業	0	0	0
鉱業	0	0	0
食料品・たばこ・飲料	2	1	0
繊維製品	0	0	0
製材・木製品・家具	0	0	0
パルプ・紙・紙加工 品	0	0	0
化学製品	0	0	0
石油製品・石炭製 品	1	0	0
窯業・土石製品	0	0	0
鉄鋼	0	0	0
非鉄金属	0	0	0
金属製品	0	0	0
一般機械	0	0	0
電気機械	0	0	0
輸送機械	0	0	0
精密機械	0	0	0
その他の製造工業 製品	0	0	0
建築及び補修	0	0	0
土木建設	0	0	0
電気・ガス・熱供給	2	1	0
水道・廃棄物処理	1	0	0
商業	7	4	1
金融・保険	2	2	0
不動産	8	7	0
運輸	2	1	0
情報通信	3	1	0
公務	0	0	0
教育・研究	1	1	0
医療・保健・社会保 障・介護	2	2	0
その他の公共サー ビス	1	0	0
対事業所サービス	2	1	0
対個人サービス	4	2	1
その他	0	0	0
合計	40	24	4

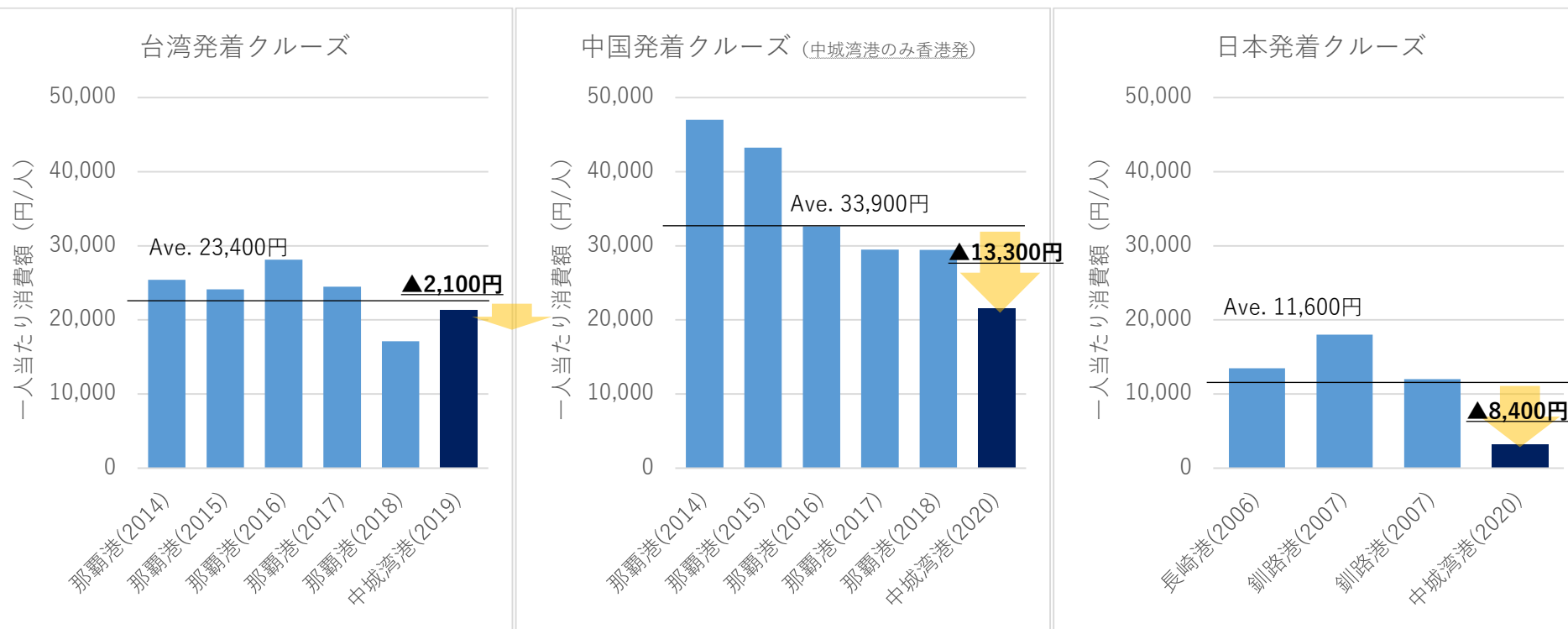
今後の施策や方向性について

アンケート結果のとりまとめ

調査項目	台湾発着クルーズ	香港発着クルーズ	日本発着クルーズ
年齢	10代～70代まで多様な構成	10代～70代まで多様な構成 (60代以上が4割以上)	年齢層が高い。 (60代以上が8割以上)
同伴者数	2人が3割以上、4人や3人も多い	半分が2人	7割が2人
同伴者属性	半分が夫婦・家族、4割が友人	7割が夫婦・家族、2割が友人	6割以上が夫婦・家族
訪問回数	リピーターが多い(3回目以上が3割)	1回目が7割	半数が1回目
国籍・住まい	ほとんどが台湾在住	香港が4割、その他は様々	日本人が殆ど
旅行形態	7割がFIT	8割がFIT	8割以上がツアー参加
寄港地での活動	ショッピング	レジャー	レジャー
交通機関	タクシー4割、シャトルバス3割	シャトルバス6割	観光バス6割
訪問地別訪問者数	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカンビレッジ ・イオンモール沖縄ライカム ・イオン具志川 	<ul style="list-style-type: none"> ・イオンモール沖縄ライカム ・アメリカンビレッジ ・中城城跡 	<ul style="list-style-type: none"> ・果報バンタ(ぬちまーす) ・勝連城跡 ・ビオスの丘
情報入手方法	<ul style="list-style-type: none"> ・友人知人家族のススメ ・船内新聞やパンフレット ・Webサイト 	<ul style="list-style-type: none"> ・船内新聞やパンフレット ・友人知人家族のススメ ・Webサイト 	<ul style="list-style-type: none"> ・船内新聞やパンフレット ・Webサイト
一人当たり消費額	21,300円/人	21,591円/人	3,175円/人

中城湾港での消費額は高いのか？（他港湾の事例との比較）

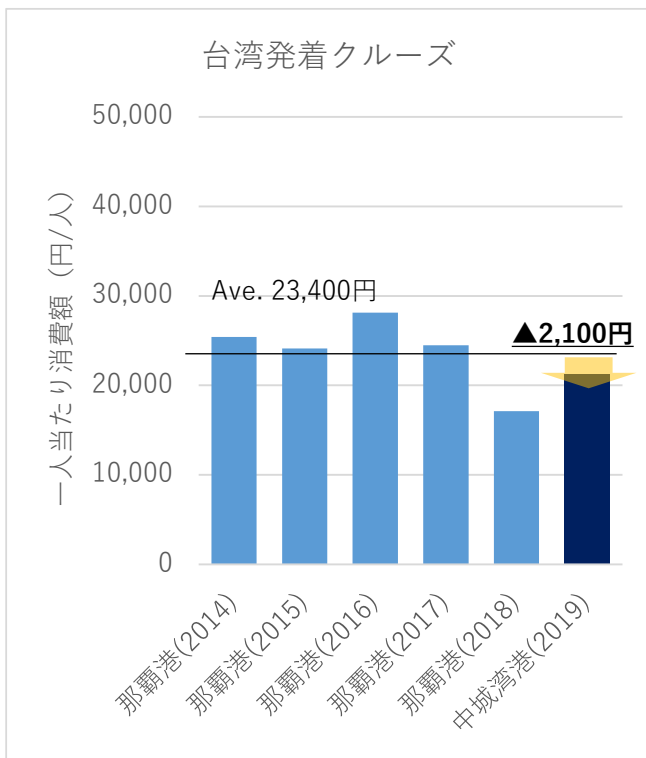
- ・ 中城湾港での台湾発着の消費額は、平均から見るとやや低いが、前年比ではプラス。
- ・ 香港発着と中国発着とはクルーズ形態や国籍が異なっているため、単純比較はできないが、中国発着の平均額と比べると▲13,300円と低い傾向にある。
- ・ 日本発着は外国発着より低い傾向にあるが、なかでも中城湾港は▲8,400円である。



調査項目	台湾発クルーズ	香港発クルーズ	日本発クルーズ
一人当たり消費額	21,300円/人	21,591円/人	3,175円/人

(経済効果を高くしていくための) 今後の方向性について【台湾発着クルーズ】

- ・若年層から高齢者まで年齢層が多様で、かつ、同伴者数も多様。リピーターが多く、FITが多い。タクシーなどで自由に移動。ショッピングが目的。口コミでの情報収集が多い。
- ・アメリカンビレッジ、イオンモール沖縄ライカム、イオン具志川が訪問先の中心。
- ・中城湾港での台湾発着の消費額は、平均から見るとやや低いが、前年比ではプラス。



(1) 中城湾港へのリピーターを増やしていく

- ・中城湾港に3回以上来ているリピーターが多いことが分かった。口コミでの情報収集が多いことから、寄港地での満足度を上げていく仕組みづくりに加え、次回訪問時に使えるクーポンの提供などの仕掛けを行う。

(2) ショッピング時の購入単価を上げていく

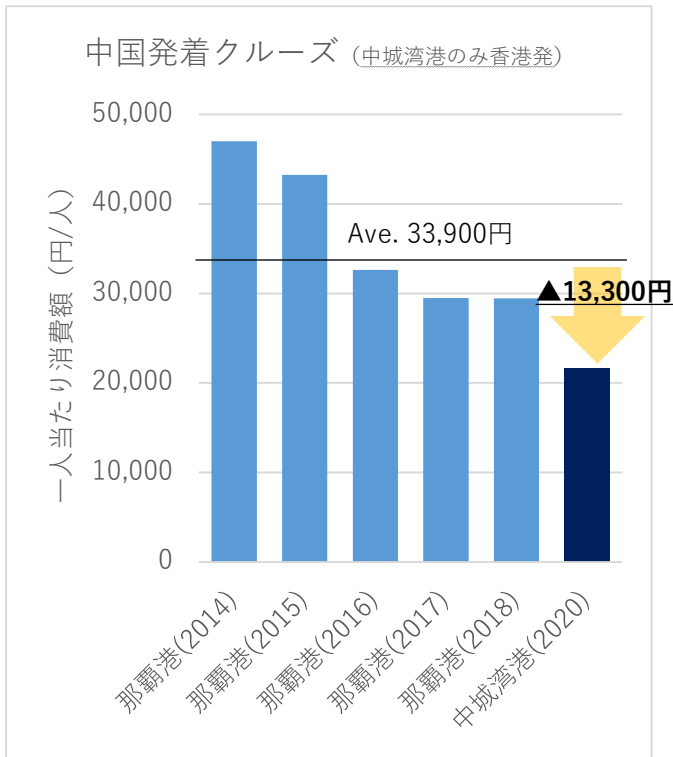
- ・現在の一人当たり消費額は平均程度であるが、郷土品やローカルフードなど単価の高い商品へと誘導していくことが有効である。例えば、SNS等で台湾人インフルエンサーと連携した製品のPRなども考えられる。

(3) 観光地の分散により訪問地数を増やしていく

- ・下船から帰船までの数時間で、複数の訪問地を訪れることができれば、交通費を含めた消費額の増加が期待できる。各地の観光地の魅力を上げ、情報発信し、交通アクセスを改善していくことが効果的である。

今後の方向性について【香港発着クルーズ】

- ・年齢層は多様だが、4割以上が60代以上とやや高齢者が多い。同伴者数は2人で夫婦や家族が多い。1回目が多く、FITでのレジャーが目的。船内新聞やパンフで情報収集。
- ・イオンモール沖縄ライカム、アメリカンビレッジ、中城城跡が訪問先の中心。
- ・香港発着と中国発着とはクルーズ形態や国籍が異なっているため、単純比較はできないが、中国発着の平均額と比べると▲13,300円と低い傾向にある。



（1）乗客定員数が多い大型船の誘致を進める

- ・上陸者数が多い方が経済効果も大きくなる。そのため、大型船を運航する船社をターゲットとしたポートセールスを進める。（RCLとGHKが大型化傾向）

（2）キャンセルを防ぎ寄港回数を増やしていく

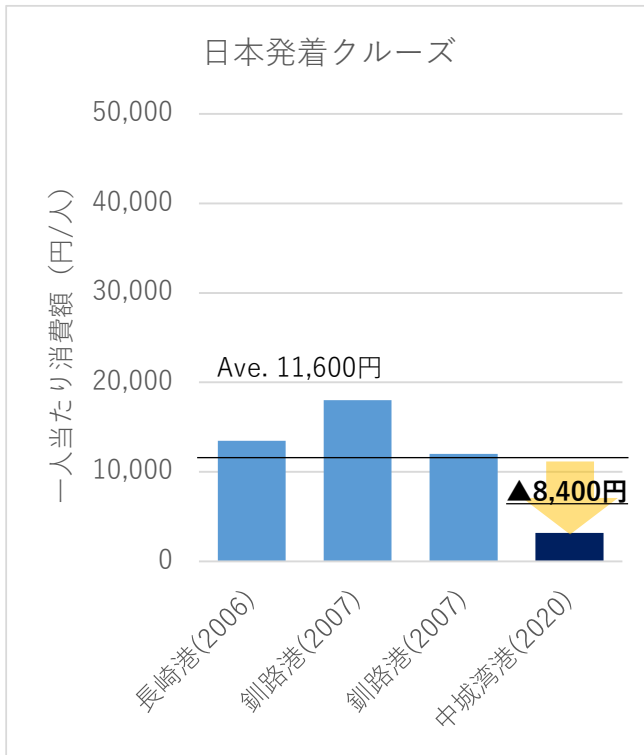
- ・中城湾港への寄港回数が多いほど経済効果も大きくなる。那覇港の代替港としての位置づけによって、直前のキャンセルが多い傾向がある。中城湾港のオリジナリティ（差別化）による船の誘致が必要である。

（3）満足度を上げて次回の滞在型観光へと誘導する

- ・香港発着は多国籍の旅客で構成されていた。クルーズ観光では寄港地に数時間滞在し、満足した観光地では、次に長期間滞在するために飛行機で来るケースが多いことから、再来日を含めた戦略が必要である。

今後の方向性について【日本発着クルーズ】

- ・ 8割以上が60代以上と年齢層が高い。同伴者の2人で、夫婦や家族で、半数が1回目。6割がオプションツアーに参加し、レジャーが目的。船内新聞やパンフで情報収集。
- ・ 果報バンタ（ぬちまーす）、勝連城跡、ビオスの丘が訪問先の中心。
- ・ 日本発着は外国発着より低い傾向にあるが、なかでも中城湾港は▲8,400円低い。



(1) 観光の合間に消費ができる仕組みづくりをする

- ・ 日本人クルーズ旅客は、観光（レジャー）が目的であり、ショッピングを目的とする外国人のような消費額は期待できないが、観光の合間に消費ができるような工夫が必要。（買い物をする場所が無い）

(2) 顧客のニーズを理解した品ぞろえを工夫する

- ・ 海外船社が運航する大型船に比べ、日本船社が運航するクルーズはチケット料金が高く設定されている。そのため、比較的所得が高い層が乗船していることから、単価が高くても嗜好が合えば消費する傾向がある。

(3) ふ頭上でも買い物ができる仕組みづくりをする

- ・ 寄港地観光ツアー後、クルーズ船へと帰船する直前に買い物や飲食ができる仕組みづくりが有効である。年間に数隻であれば仮設テントで十分だが、数十隻を超えるケースでは旅客ターミナル内における買い物ができる仕組みの整備も必要である。

**令和元年度経済波及効果アンケート調査業務
報告書 概要版**

**令和2年9月
中部広域市町村圏事務組合**

【受託事業者】 セントラルコンサルタント株式会社 沖縄営業所